

劇団四季ファミリーミュージカル

魔法をすてたマジヨリン

元気いっぱい、好奇心旺盛な魔法の女の子マジヨリンの夢いっぱいの魔法の世界。魔法を使ったり、空を飛んだり、ハラハラドキドキ見逃せない場面の連続!

大人気の公演です。良い席はお早めに!

と き 11月24日(土)午後4時開演
 ところ サンホール
 入 場 料 S席 4,500円 A席 3,000円 B席 2,000円

※3歳未満のお子さんで、保護者のひざの上でご鑑賞の場合は、無料です。



前回公演より 撮影者：荒井健



全席指定

大好評発売中!

文化プラザ窓口：午前 9 時～午後 8 時

チケットぴあ：午前10時～(☎0570-02-9999 Pコード:379-224)

残席状況については、お気軽にお問い合わせください。

市ホームページ(アドレス:http://www.city.toki.lg.jp)でもご覧になれます。

図書館だより

読書の小径

こみち

No.54

市図書館 ☎ 1253

妖(あやかし)

かつては日本全国津々浦々、妖しきものが出没していました。そして、人々は熱心にさまざまな妖怪について書き残しました。

田中聡『江戸の妖怪事件簿』

は、江戸時代の随筆、日記などに記録された妖怪絡みの事件を拾い上げたものです。興味深い記述を採り上げるとともに、その現象、その記述の背後に潜む時代性や人間性といったものを掘り起こし、語っていきます。

そんな江戸の妖怪たちが活躍する小説が、**畠中恵**「しゃばけ」シリーズです。江戸の大店の若旦那**一太郎**は、一粒種で両親に溺愛されているが、めつぼう体が弱い。そんな彼を、身の周りにいる犬神や白沢といった妖たちがいつも守っている。第13回ファン

タジノベル大賞優秀賞を受賞した「しゃばけ」に始まるシリーズは、体の弱い若旦那と妖たちが協力して事件を解決する推理捕物帖です。ただし、ここに出てくる妖たちはどこかとぼけた味わいで怖くありません。ちなみに「しゃばけ」とは「娑婆気」と書き、世俗的な名譽や利得などさまざまな欲にとられる心の状態を表します。『ぬしさまへ』『ねこのぼば』『おまけのこ』『うそうそ』『ちんぷんかん』と現在第6弾まで続いている人気シリーズです。

京極夏彦『百怪図譜 京極夏彦画文集』

著者は作家としてだけでなくデザイナーとしても長いキャリアを持っています。本書も決して素人の手遊びではなくプロの技によるものです。ここに収録されている作品35点のモチーフはすべて妖怪。「鉄鼠」「ぬつぽつぽつ」「河童」など、

妖怪研究家の著者ならではの深い思い入れを込め、独自のタッチで生き生きと描いています。



11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30

※ が休館日です

図書館の 開館時間	火～金曜日	10:00～19:00
	土・日曜日、祝・振休	10:00～17:00

※図書館のご利用は無料です。